

平成27年度 日本大学豊山女子高等学校・中学校
外部評価結果（総括）

平成27年度、豊山女子高等学校・中学校より依頼を受けた外部評価者4名の代表として、以下のとおり外部評価結果を総括いたしました。

☆生徒の安全、危機管理について

当該項目について関心を持っている点、特に注目した取り組み

- ・緊急時の「連絡メール」が整備されて、それを活用することにより緊急時の学校と家庭との連絡を密にして生徒の安全を確保している。
- ・災害及び危機管理に対しての対応マニュアルが事細かに作成してあり、生徒が毎日安全に過ごせるように考えられていてとても安心である。
- ・中高生になると家庭で過ごす時間よりも学校で過ごす時間の方が大半を占めるために、学校での生活において常に安全性が求められ、生徒の安全を第一に考えられた環境づくりのために作成されたマニュアルは日頃からの教職員の努力の賜物であり非常に素晴らしいと思う。
- ・以前は複雑な校舎の造りであったので、セキュリティーに関して万全の対策を講じている。

当該校の取り組みについて優れていると認めた点

- ・東日本大震災の時の教訓を生かして作成された「震災対応マニュアル」に基づき、震災発生時の対応の仕方が明確に示されていて、緊急時の避難方法及び安全確保のための行動の方法がきちんとマニュアル化されている。そのマニュアルを元に避難訓練を実施していて、緊急時の先生と生徒の行動を明確にしている。
- ・生徒に対して学校があらゆる面からサポートして下さり、生徒が安全かつ安心に過ごせるように管理が出来ていて良い。
- ・「危機管理マニュアル」「震災対応マニュアル」「いじめ防止基本方針」等は、各項目ごとに詳細にわたり記載されていて素晴らしい。これらにより、安心して子どもを託すことが出来る。
- ・校内に警備員を常駐することで来校者のチェックを厳重にしている。

改善が必要と思われる点、今後望まれる取り組み

- ・緊急時の「連絡メール」の実施において、いざと言う時に確実に連絡が流れるように定期的に試験メールを発信して緊急時に備えた方が良い。また、クラス別の連絡網も「連絡メール」または「ライン」にて配信出来るようにしたら良い。
- ・現在のマニュアルを定期的に見直して、状況に応じて改善を行なって欲しい。

その他気づいた点、疑問点など

- ・時々学校を訪問した際に、色々な業者さんも容易に校内に入っていましたので、来校者のチェックをもう少し厳しくした方が良い。エレベーターは監視カメラがあるから大丈夫だが、階段からはカメラの死角になっているから注意が必要である。
- ・いじめやネットに対して敏速に対応して下さる教員が素晴らしい。
- ・日の入りが早い冬の時期の通学路が非常に暗い。

☆保健衛生に関する生徒への指導・相談体制について

当該項目について関心を持っている点、特に注目した取り組み

- ・ S T I 予防講習会や普通救命講習会を毎年実施して、生徒一人一人の自覚、意識の向上を高めている。
- ・ 生徒が心も体も安心して過ごせる環境になっておりとても良い。
- ・ 何か起きたらすぐに相談出来る体制になっていて、学校全体でサポートしているようでとても安心出来る。
- ・ 学校医、スクールカウンセラー、養護教諭、教員との連携がしっかりと出来ており、家庭との連絡もスムーズに行われている。

当該校の取り組みについて優れていると認めた点

- ・ 保健便りを発行して、その時期に応じて注意しなくてはならない感染症などを取り上げて生徒に注意を喚起しながら健康管理を推進している。
- ・ S T I 予防講習会や普通救命講習会の実施により、危機管理の知識として社会に出て役立たせている。
- ・ 女子生徒に対する保健情報が全員に行き届くように学校としての努力が感じられる。
- ・ 新年度の健康診断はたくさんの項目の検診が行われるが、1日という限られた時間でスムーズに行われているのと、検診に携わるスタッフも女性だけで行われていて、思春期の羞恥心が高まっている女子生徒のことをとても考慮していて安心出来る。
- ・ 年間を通して季節的に流行が予想される疾患に対しての予防策がしっかりしていて、生徒自身が健康管理の必要性を理解しやすい環境になっている。
- ・ 生徒が体調不良または怪我などをした場合に、確実に連絡が取れるまで保護者と連絡を取ってくださるのでとても安心感がある。

改善が必要と思われる点、今後望まれる取り組み

- ・ 保健室がある棟は、現在は高校3年生が主体に使用していて中学生や高校1年生や2年生にとっては少し距離があって気軽に行けてないのではないかと。1号館に移動した方が大半の生徒や先生から近くなって、より活用し易くなるように思います。
- ・ 普通救命講習会を毎年受けることが出来れば、いざという時に迷うことなく行動が出来ると思う。

その他気づいた点、疑問点など

- ・ 学習、交友関係、家庭環境、身体的・精神的な悩みをたくさん抱える思春期の生徒が、誰かに相談したくても出来ない時があって、そんな時に体調不良を理由に保健室を訪ねることもあると思われるので、そんな時に養護教諭がゆっくりと対応出来るような環境にして欲しい。

☆キャリア教育と日本大学への進学指導について

当該項目について関心を持っている点、特に注目した取り組み

- ・日本大学の付属校らしく、日本大学の各学部の担当者に出席していただいたの進路説明会を実施して日本大学への進学を優先して指導している。
- ・日本大学への進学について進学率 60%ということで、先生方の指導の結果だと思う。また、生徒を 1 人 1 人良く指導していただき、それぞれの生徒に合った進路指導をしてくださっている。
- ・今年度の付属の入試システムが大きく変わる中で、キャリア教育・日本大学進学情報・他大学に関する情報が適切に伝えられている。
- ・中学生の時から日本大学の各学部の見学が行われていて、生徒にとっては日本大学の付属生としての自覚を持ち、進学に向けての情報収集を得られる良い機会である。

当該校の取り組みについて優れていると認めた点

- ・都内で理数科のある唯一の女子校ということで、理系の教育に力を入れていて実績も上昇している。
- ・中学の時期より、大学進学を念頭に入れたカリキュラムが組み込まれている。
- ・生徒が将来就きたい職業へのキャリアデザインがイメージ出来るように、日本大学の各学部の見学や卒業生及び日本大学の学生による講演・進路相談等をしてくださり、恵まれた環境に置かれている。
- ・キャリア教育の面では、英語力を強化していただき国際的に活躍する生徒が増えて良いと思う。
- ・理工学部が文化祭に参加して、大学に対する興味を持たせ将来の夢・目標を見つけられるように高校と大学が連携している。

改善が必要と思われる点、今後望まれる取り組み

- ・理数科があることで理系のクラスと合わせて医学、歯学、薬学、看護などへの進学率が内外共に高まる一方で、文系も理数科のような特進コースを設けて国公立対策を図るなどの改革が必要。
- ・基礎学力到達度テストによる早い時期の進路決定によって生徒達の学習意欲（モチベーション）が下がらないように意識改革をしながら指導して欲しい。
- ・理工学部や生物資源科学部だけではなくて、他の学部のキャンパスの紹介・見学をして欲しい。

その他気づいた点、疑問点など

- ・日本大学の直属の付属校で、さらに唯一の女子校ということで、名実共に実績・レベルを上げていかななくてはならない中で、生徒が安心して日本大学に進学出来る環境にして欲しい。

☆保護者、地域とのコミュニケーションについて

当該項目について関心を持っている点、特に注目した取り組み

- ・地域の小学校の児童や保護者の方々を対象に英会話教室や算数教室を実施して交流を図り親交を深めている。
- ・近年、生徒指導よりも保護者との関わりが難しいと言われている中で、保護者会の時を活用して懇親会を企画して先生と保護者とのコミュニケーションの場になっている。
- ・音楽部や吹奏楽部が地域でクリスマスコンサートを行い、地域の住民の方と交流を深めて豊山女子の素晴らしさをアピールしている。

当該校の取り組みについて優れていると認めた点

- ・体育祭や文化祭などの学校行事の際には、先生と生徒が協力して近隣の皆さまにしっかりと挨拶したりして近隣への気配りの対応がしっかりしている。
- ・生徒達が地域の小学校と連携して発表・協力することで生徒達も自信に繋がると思う。
- ・文化祭にたくさんの近隣の住民の方々が来校されていて、学校行事の理解に繋がっている。
- ・音楽部や吹奏楽部が地域で発表会をしたり、ダンス部が施設を訪問して活動していることは地域との交流・理解を深めることで大変に素晴らしいと思う。

改善が必要と思われる点、今後望まれる取り組み

- ・地域の小学校の児童の保護者と行なっているような交流を本校の在校生の保護者とも実施して、先生と保護者との交流を深める機会を作って欲しい。
- ・文化祭は生徒達の日頃の成果の発表の場であり生徒同士・生徒と保護者・先生と生徒・そして学校と地域の方々との交流の場としてとても大切かつ重要な行事であるので、基礎学力到達度テストの日程を考慮しながら、生徒達がもっと準備に時間をかけられるように検討が必要。そうすることで更に充実し、地域に根ざす文化祭になると思う。
- ・小学校だけではなく、中学校とも交流出来れば高校入試にも繋がって効果はある。

その他気づいた点、疑問点など

- ・地域の住民の皆さま・保護者の皆さまのご理解とご協力があってこそその学校だと思うので、生徒の登下校のマナーの徹底を強化して、地域の皆さまや他校の生徒から「さすが豊山女子の生徒」と言われるような校風作りに徹して欲しい。
- ・通学路での先生方の立哨指導があっても良い。生徒の意識が変わるし近隣の皆さまの学校への評価も変わってくると思う。

全体評価

評価概況

- ・今年度の秋桜祭の開催が、基礎学力到達度テストの日程の関係で2週間早まり9月初旬となった。学力到達度テストを受験する高校3年生の参加が少なくなり、例年よりもやや寂しい感じの秋桜祭となった。
- ・10月下旬から文化週間として新しい試みが開催されて、校外学習の展示や授業で作成した作品などがたくさん展示されていた。中学の授業参観と重なったこともあって、たくさんの保護者の方が来校されて作品を鑑賞されていた。秋桜祭で展示するよりも来校された生徒のご家族の方がとても熱心に鑑賞されていたので、とても良い展示方法だと感じた。
- ・生徒会、体育部、文化部の中学生と高校生の代表の生徒と面談をさせていただいた。全員にほぼ同じような質問をしたが、どの生徒も「学校がとても楽しい」と笑顔で語ってくれたのが非常に印象的で、豊山女子の素晴らしさを感じた。
- ・秋桜祭に、たくさんの卒業生が来校していたのも素晴らしいと感じた。公立の学校では、先生の人事異動があるため卒業してから母校を訪問する機会は少なくなるが、私立の学校の良さを強く感じた。生徒達にとって母校は何でも相談できる故郷であるから、いつ訪問しても懐かしい先生に会えて色々と報告・相談が出来る環境になっていることは素敵なことだと思う。

評価できる点

- ・「生徒の安全、危機管理」「保健衛生に関する指導・相談体制」「キャリア教育と日本大学への進学指導」「保護者、地域とのコミュニケーション」の全ての標題について、学校の生徒に対する意識の高さを強く感じた。全ての点において生徒の安全を第一に様々なマニュアルを作成して、それを学校が一体となって実践している。
- ・学校の文化祭にたくさんの保護者、卒業生、地域の方々が来校されるのは、それだけ学校が魅力的だからだと思う。地域にこのような素晴らしい学校があって地域の皆さまの誇りになるような学校に、我が娘を通わせている学校がこんなにも素晴らしい学校だと評価してくださる学校に、そして何よりも通っている生徒自身が豊山女子に通っていることを誇りに思える学校に、そんな学校になっていると思う。
- ・日本大学の直属の付属校で唯一の女子校として名実共に評価されるように、生徒の安全面・健康面・進学・保護者や地域との関わりの点で、学校が一体となって生徒と向き合っている努力していると思う。

改善すべき点

- ・通学路を中心に地域の住民からのクレームはまだ無くなるようだから、生徒を集めての集会やホームルームを活用してしっかりとした指導をして欲しい。
- ・女子校としての身だしなみをもう一度認識して厳しく指導して欲しい。
- ・様々なマニュアルを定期的に見直し、改善しながらさらに高度なマニュアルにて生徒を管理して欲しい。
- ・日本大学に進学するための基礎学力到達度テストの兼ね合いで文化祭などの行事の日程や内容が変更になったりしたが、生徒達が伸び伸びと思う存分に活躍出来るように検討して欲しい。

その他感想

- ・今回、このような学校評価をやらせていただき、豊山女子が素晴らしい学園であることを改めて感じました。先生と生徒が一体となって共に協力し合ってより良い学校を築いています。
- ・様々なマニュアルを活用して生徒の安全を第一に、これからも努力して欲しいです。
- ・日本大学の付属校として勉強に運動にさらに努力して実力を上げて欲しいです。
- ・他の学校と明らかに違うのは、学校と保護者との関係がとても良いことです。今後も保護者をはじめ地域住民から信頼される学校になっていくことを期待します。